

国立大学の現状



平成20年2月13日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

掲載項目一覧

- 1-1. 国立大学の種類・規模
- 1-2. 国立大学の配置状況
- 2-1. 学生数
- 2-2. 学部学生数
- 2-3. 大学院学生数
- 2-4. 外国人学生数
- 2-5. 外国人大学院学生数
- 3-1. 教員数
- 3-2. 外国人教員数
- 4-1. 博士の学位授与状況
- 5-1. 運営費交付金配分額
- 5-2. 科学研究費補助金配分額
- 5-3. グローバルCOEプログラム及び21世紀COEプログラム配分額
- 5-4. 国公私立大学を通じた大学教育改革支援事業配分額
- 6-1. 受託研究受入額
- 6-2. 共同研究受入額
- 6-3. 寄附金受入額
- 6-4. 大学等発ベンチャー件数
- 7-1. 学術論分数



1-1

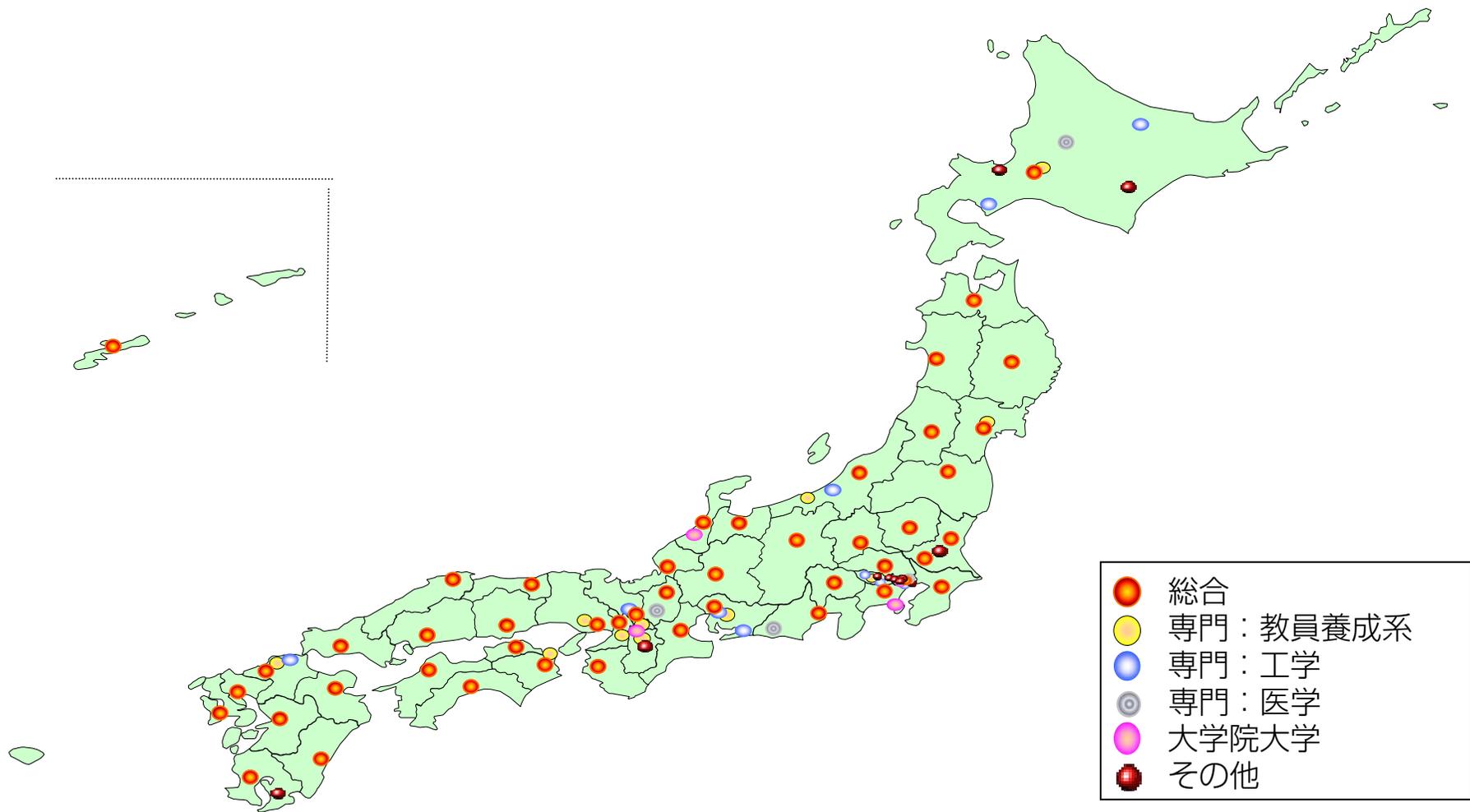
国立大学の種類・規模

86 大学	● 総合 47	7学部以上		20	
		6学部	5	[山形、静岡、香川、愛媛、琉球]	〔北海道、東北、※筑波、千葉、東京、新潟、富山、金沢、信州、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、山口、九州、長崎、熊本、鹿児島〕
		5学部	9	[弘前、茨城、埼玉、岐阜、三重、島根、徳島、高知、佐賀]	
		4学部	7	[岩手、宇都宮、群馬、横国、鳥取、大分、宮崎]	
		3学部	4	[秋田、福井、山梨、和歌山]	
		2学部	2	[※福島、滋賀]	
	● 専門 33	● 教員養成系		11	
		● 工学		10	〔室蘭工業、北見工業、東京農工②、東京工業③、電気通信、長岡技術科学、名古屋工業、豊橋技術科学、京都工芸繊維、九州工業②〕
		● 医学	4	[旭川医科、東京医科歯科②、浜松医科、滋賀医科]	
		● 社会	2	[小樽商科、一橋④]	
		● 外国語	1	[東京外国語]	
		● 芸術	1	[東京芸術②]	
		● 体育	1	[鹿屋体育]	
		● 海洋	1	[東京海洋②]	
● 畜産		1	[帯広畜産]		
● 障害者教育		1	[筑波技術②]		
● その他 39	女子大学	2	[お茶の水③、奈良女子③]		
	● 大学院大学	4	[政策研究、総合研究、北陸先端科学技術、奈良先端科学技術]		

・ ※は学群制度を持つ大学
 ・ ○の中の数字は学部数
 ・ 赤字は医学部を持つ大学

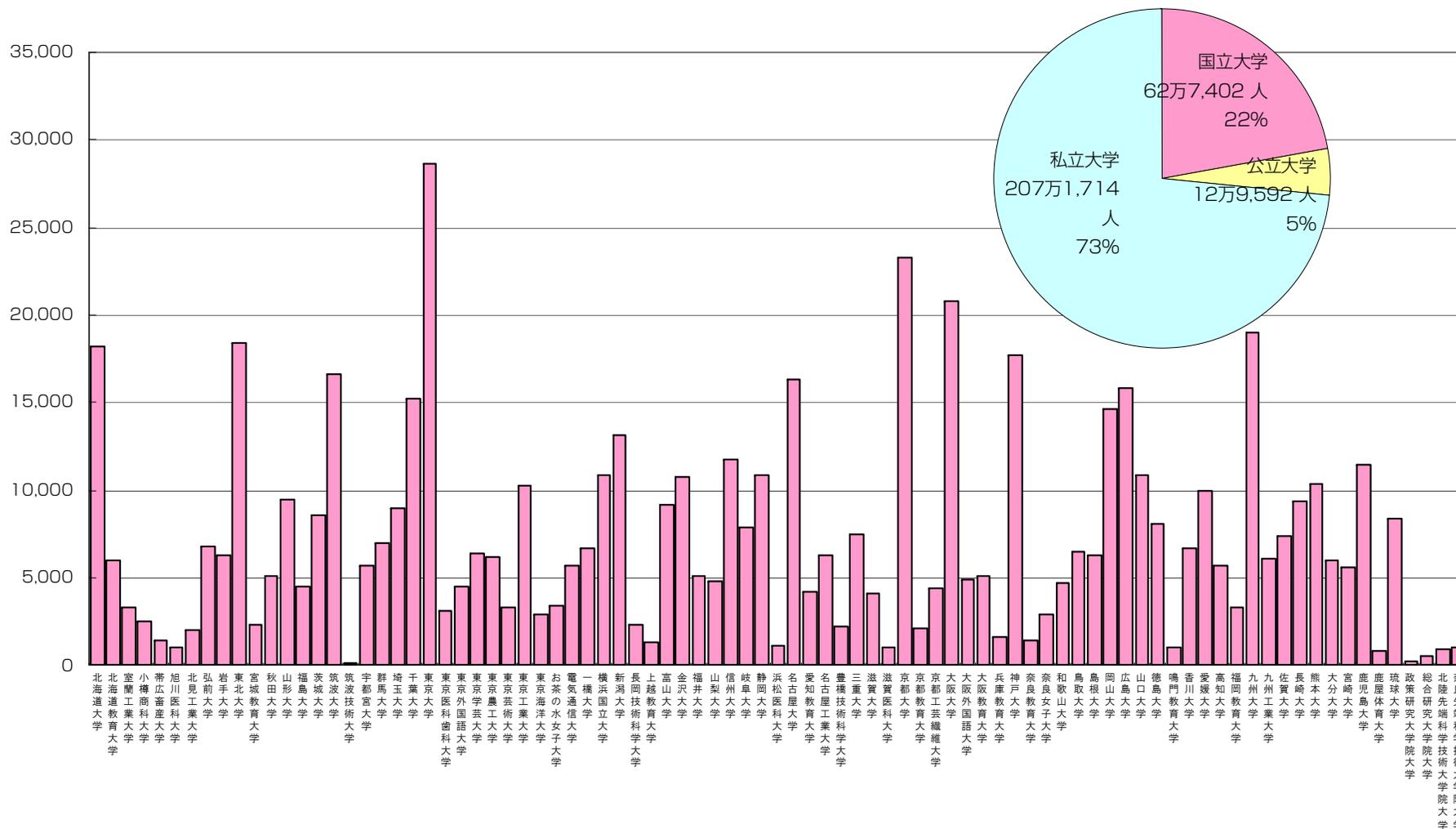
1-2

国立大学の配置状況



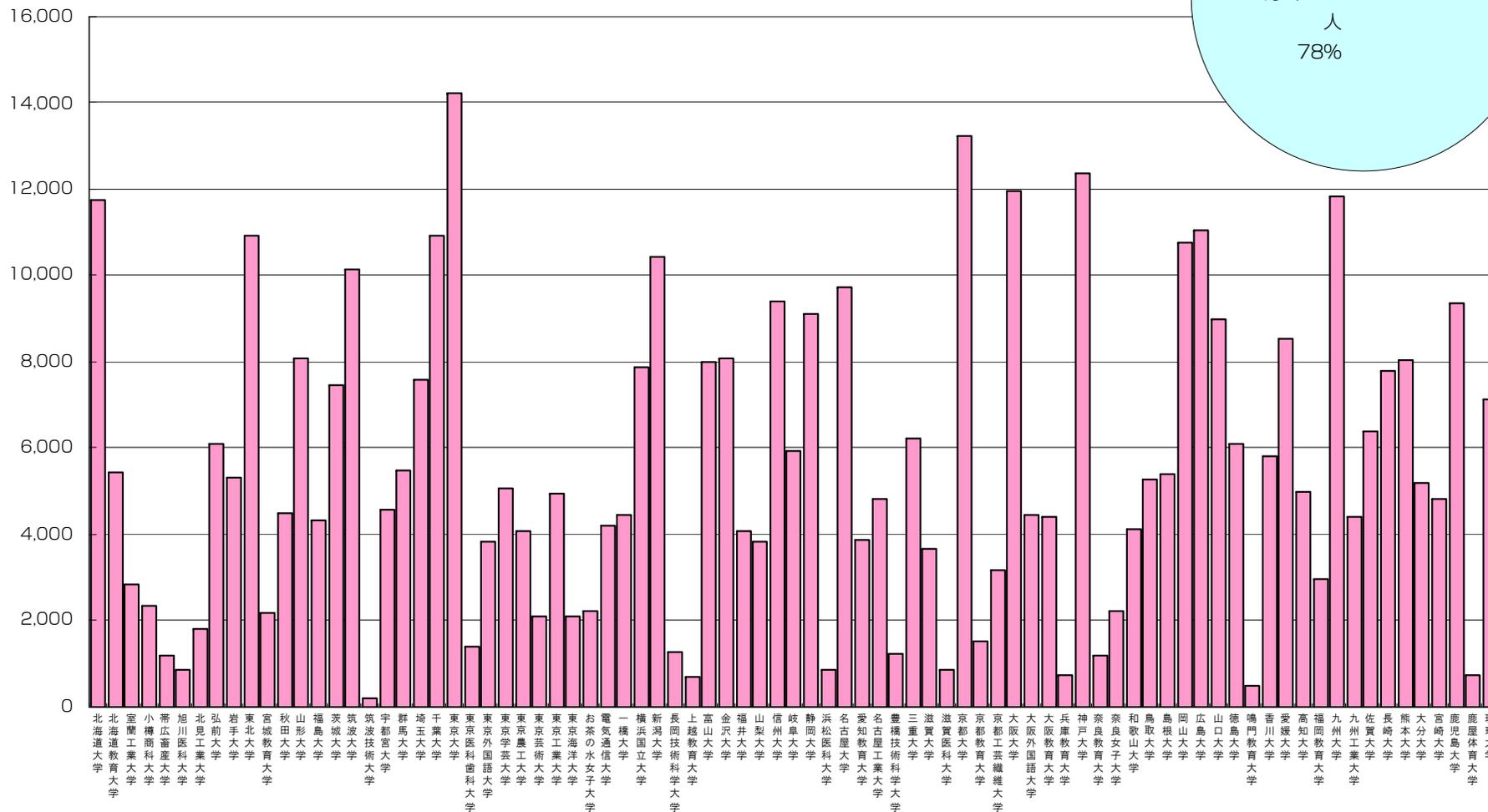
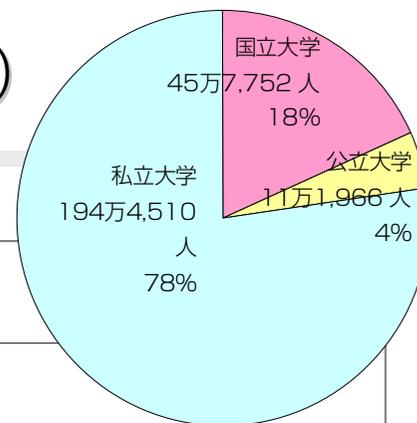
2-1

学生数（平成19年5月1日現在）



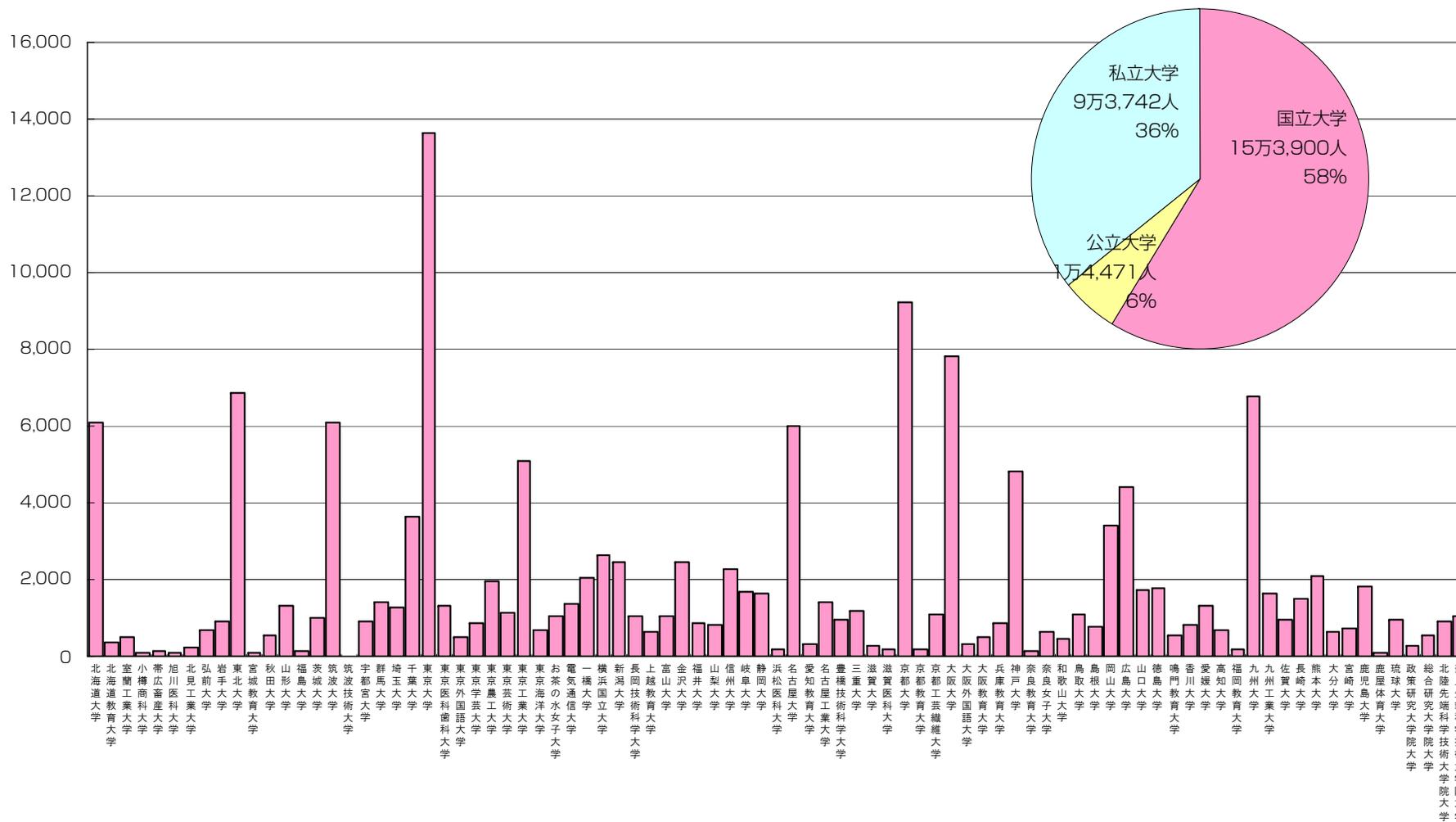
2-2

学部学生数（平成19年5月1日現在）



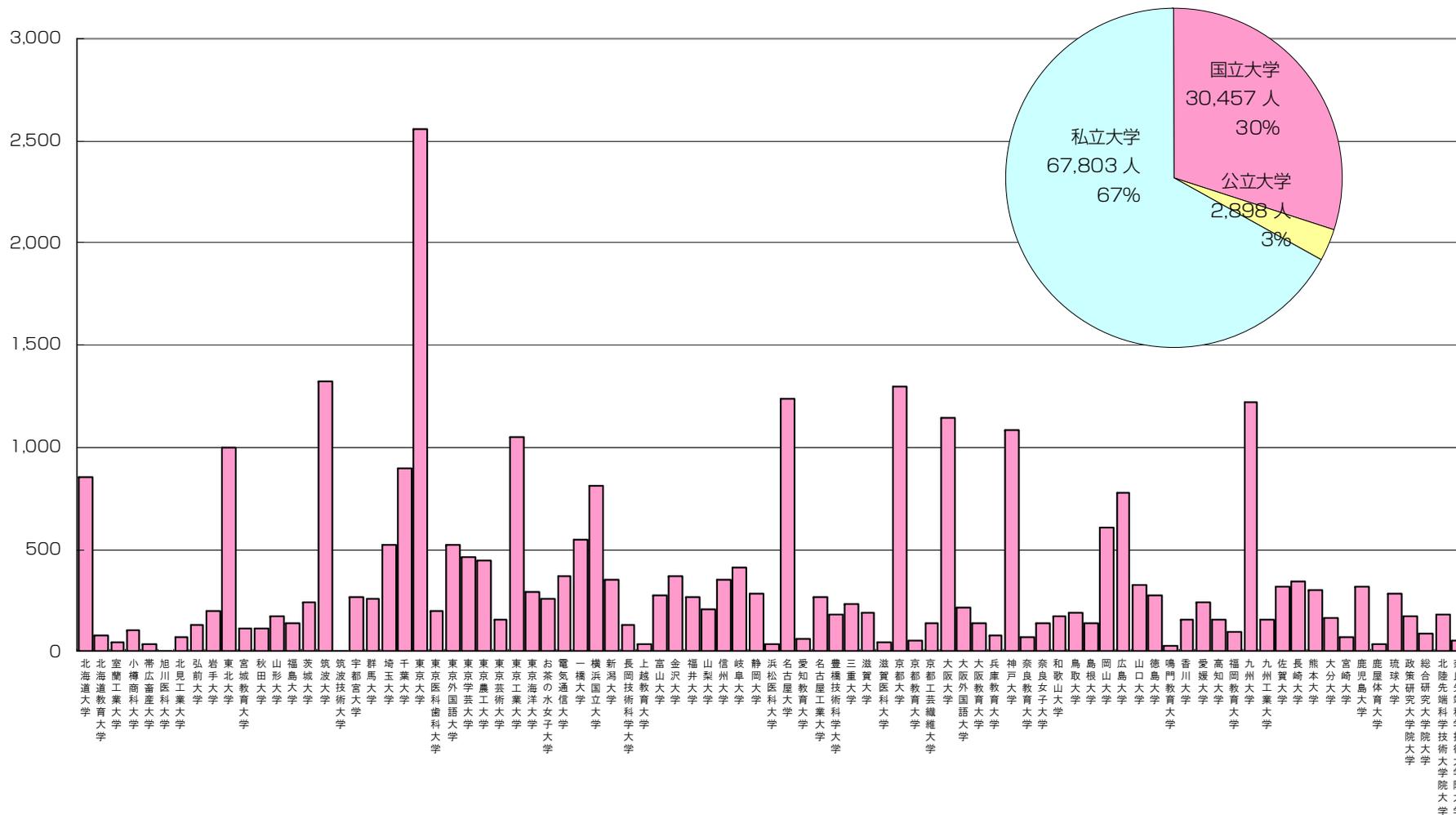
2-3

大学院学生数（平成19年5月1日現在）



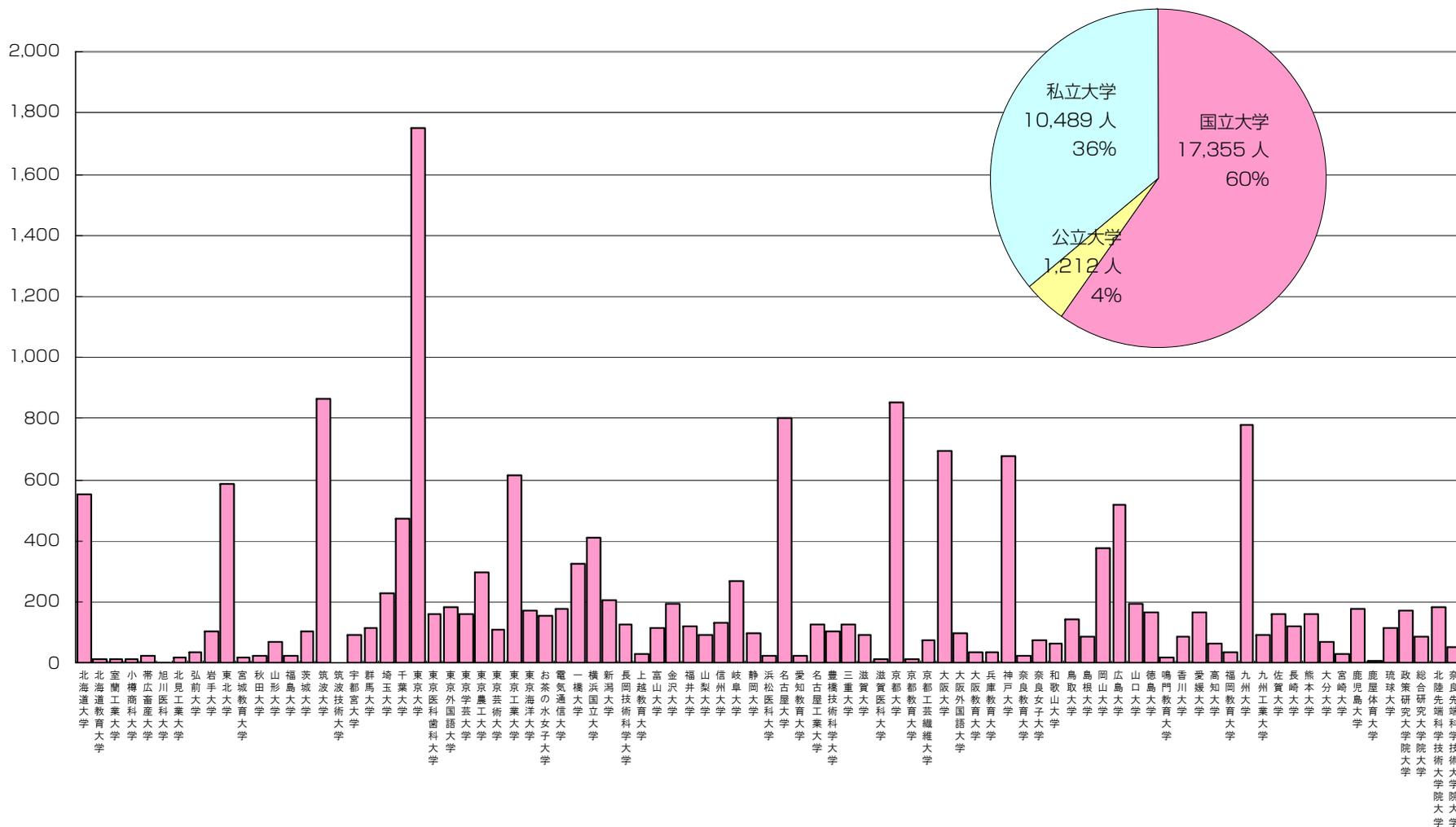
2-4

外国人学生数（平成19年5月1日現在）



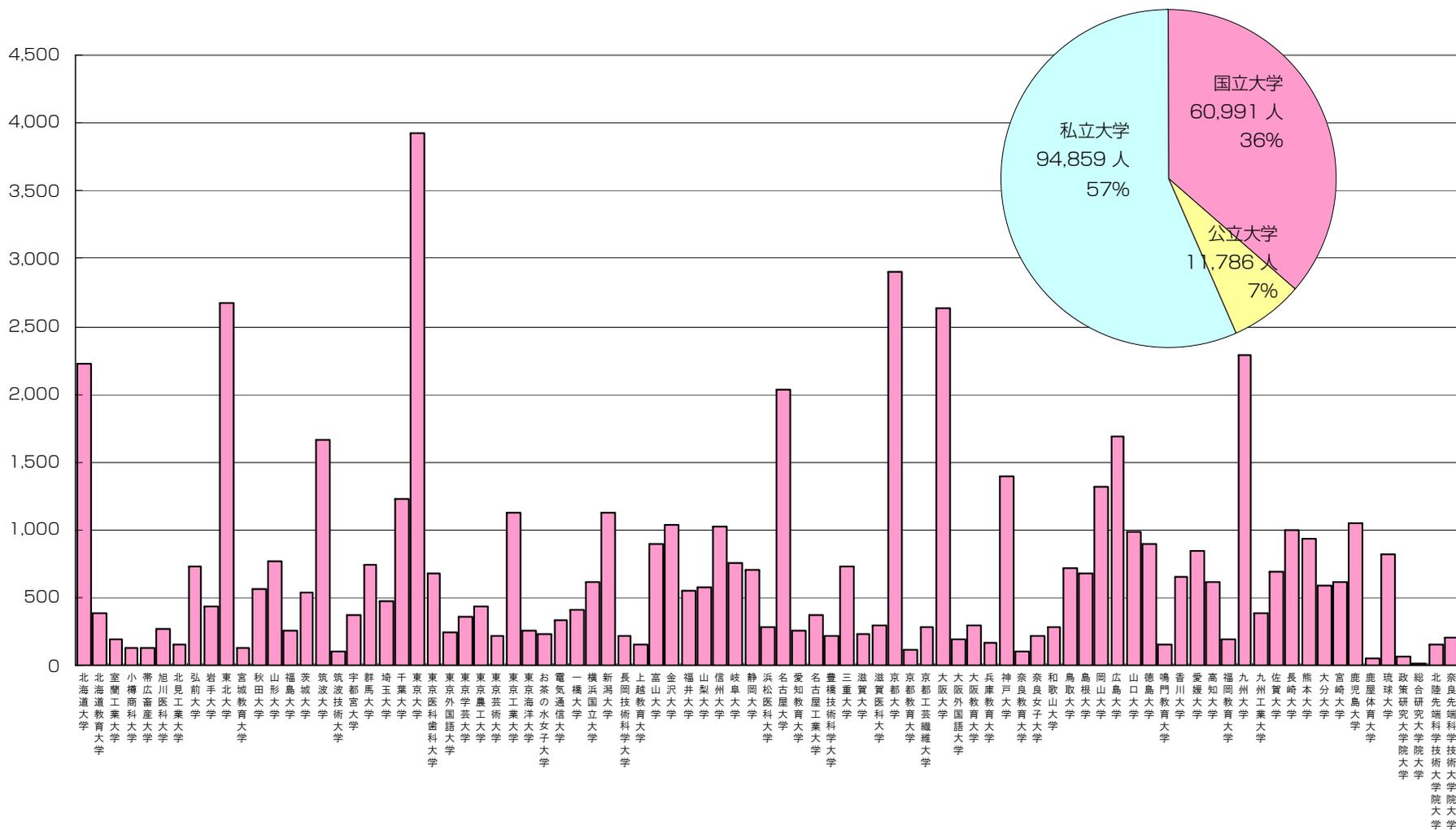
2-5

外国人大学院学生数（平成19年5月1日現在）



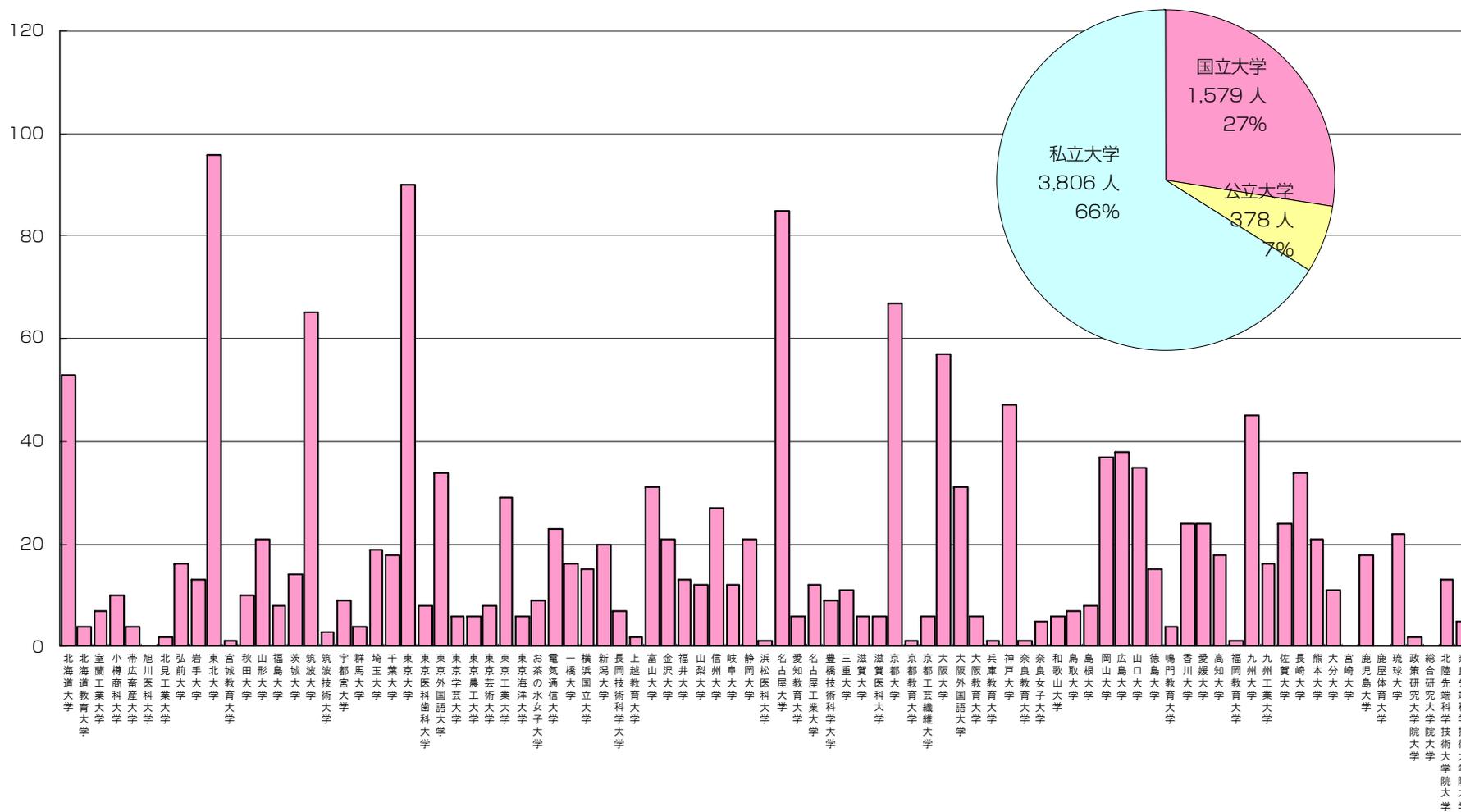
3-1

教員数（平成19年5月1日現在）



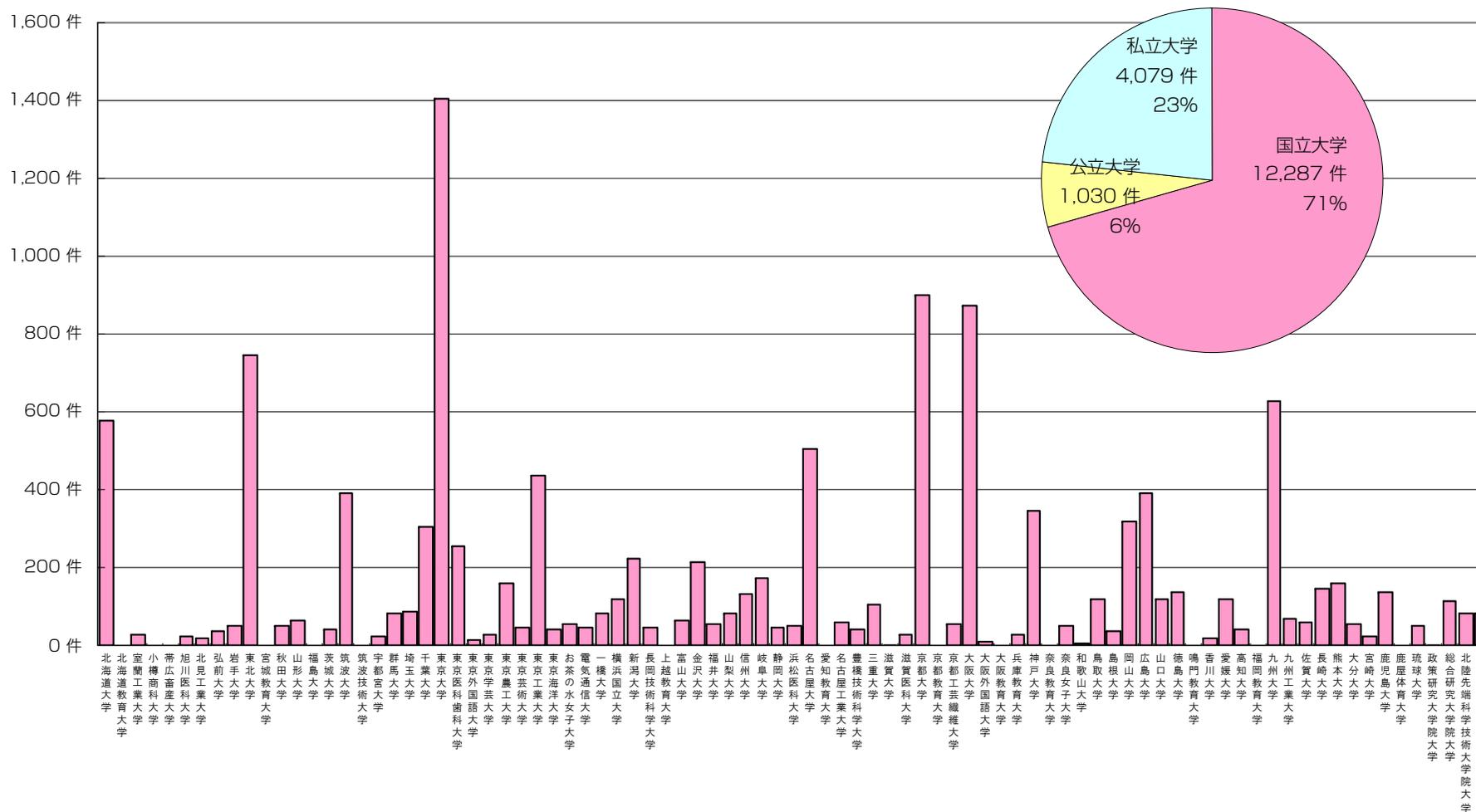
3-2

外国人教員数（平成19年5月1日現在）



4-1

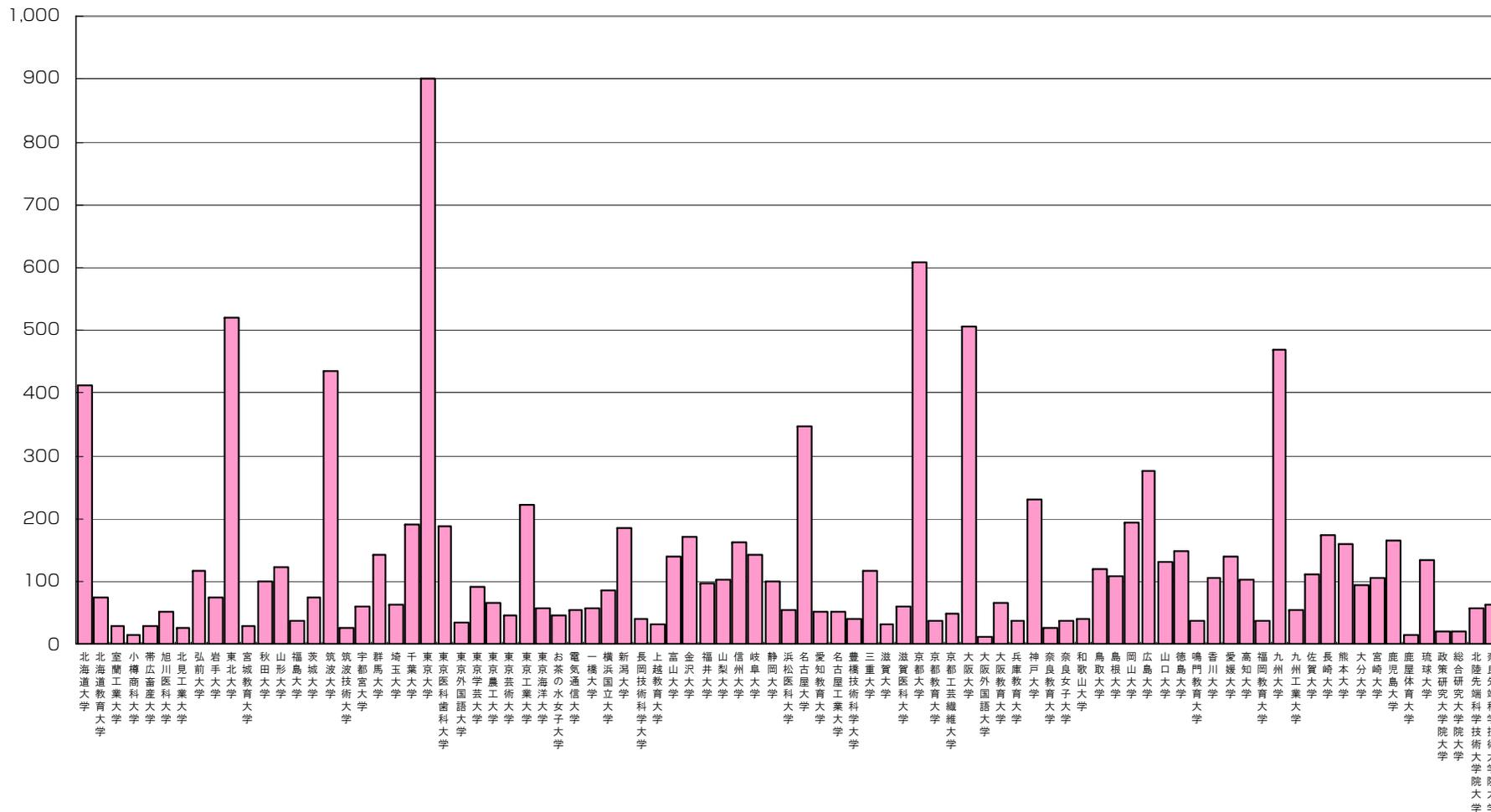
博士の学位授与状況（平成17年度）



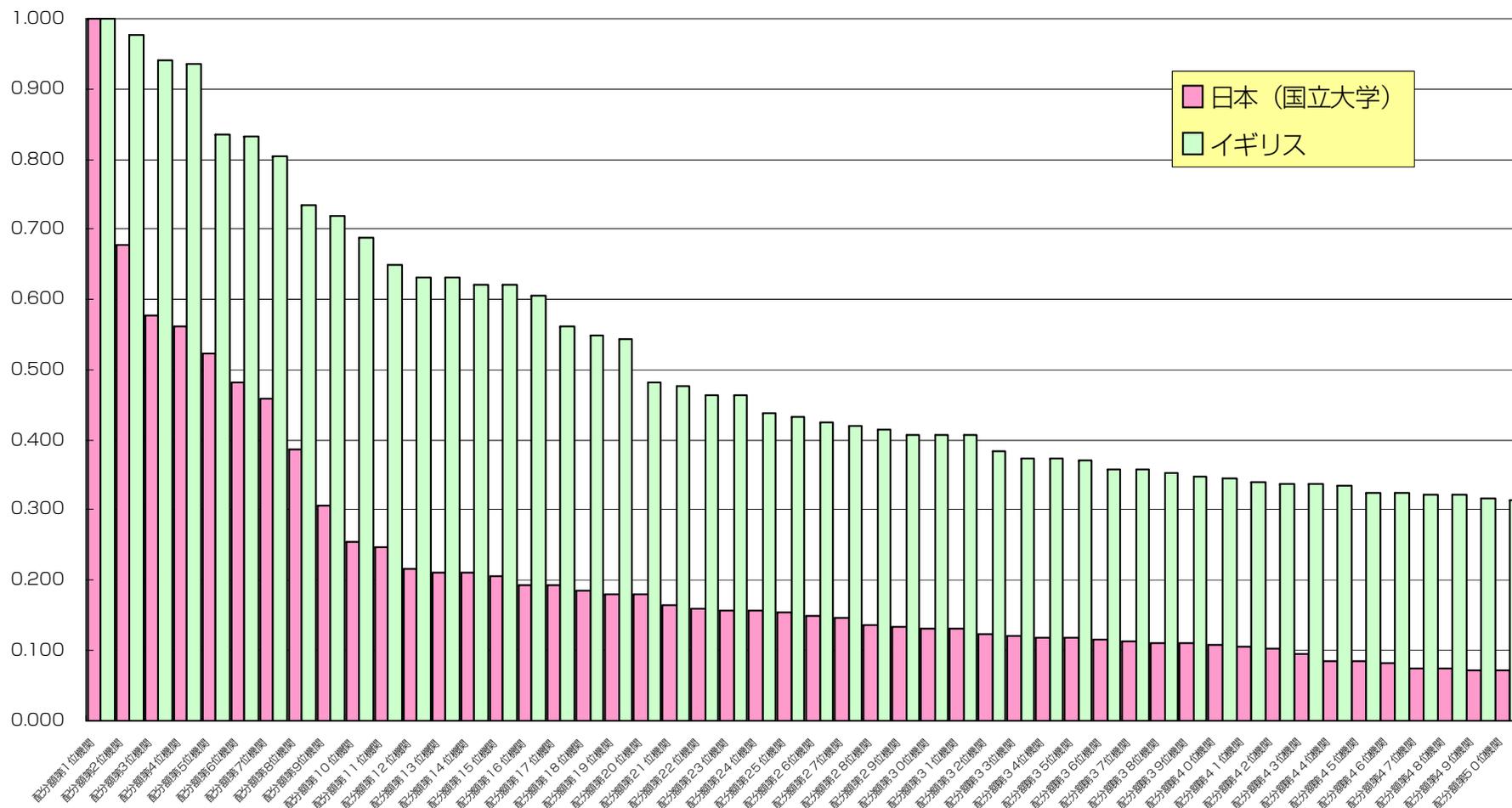
5-1

運営費交付金配分額（平成19年度）

(単位：億円)



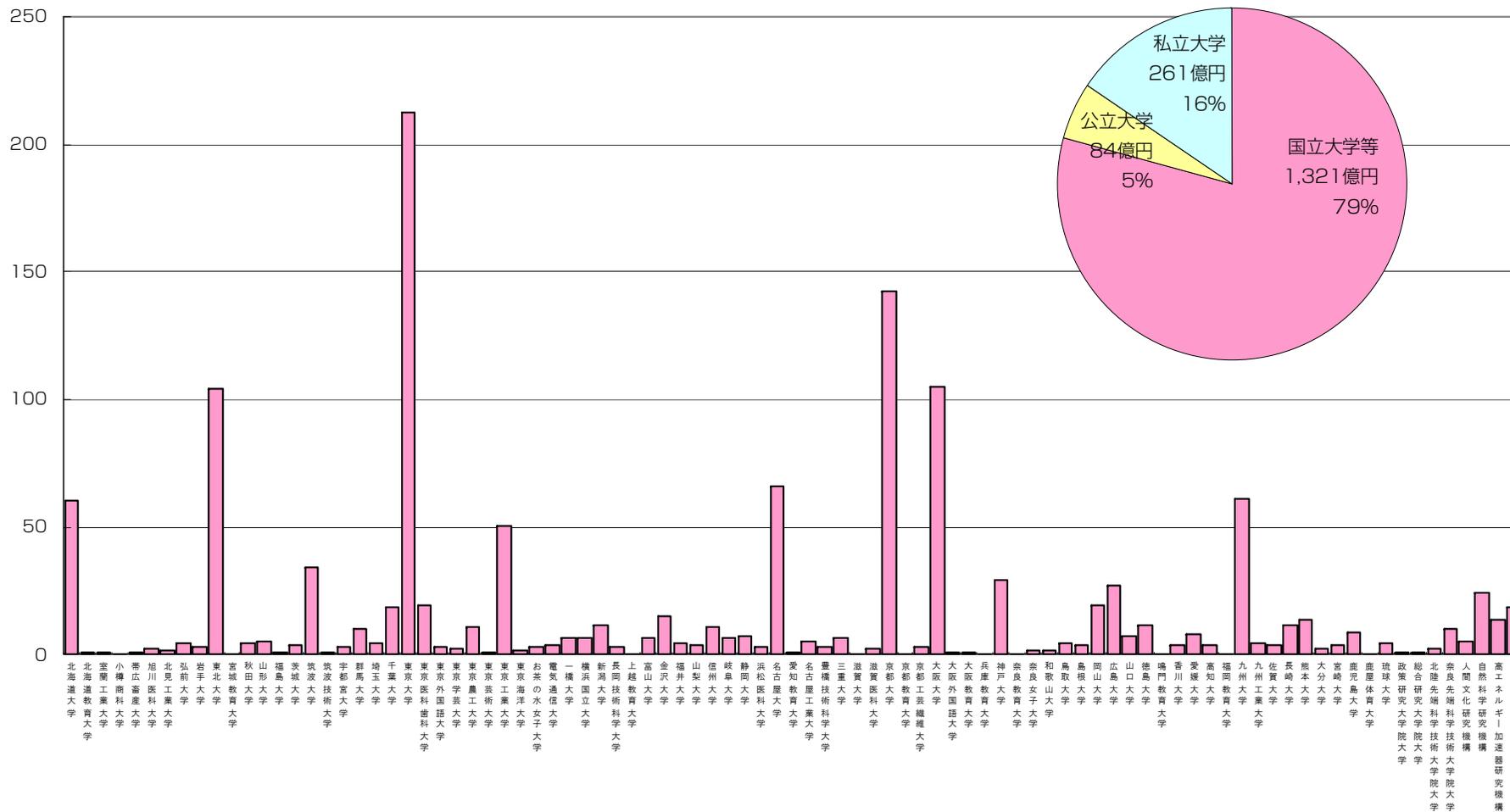
参考1 日英における基盤的経費の傾斜配分に関する比較



5-2

科学研究費補助金配分額（平成19年度）

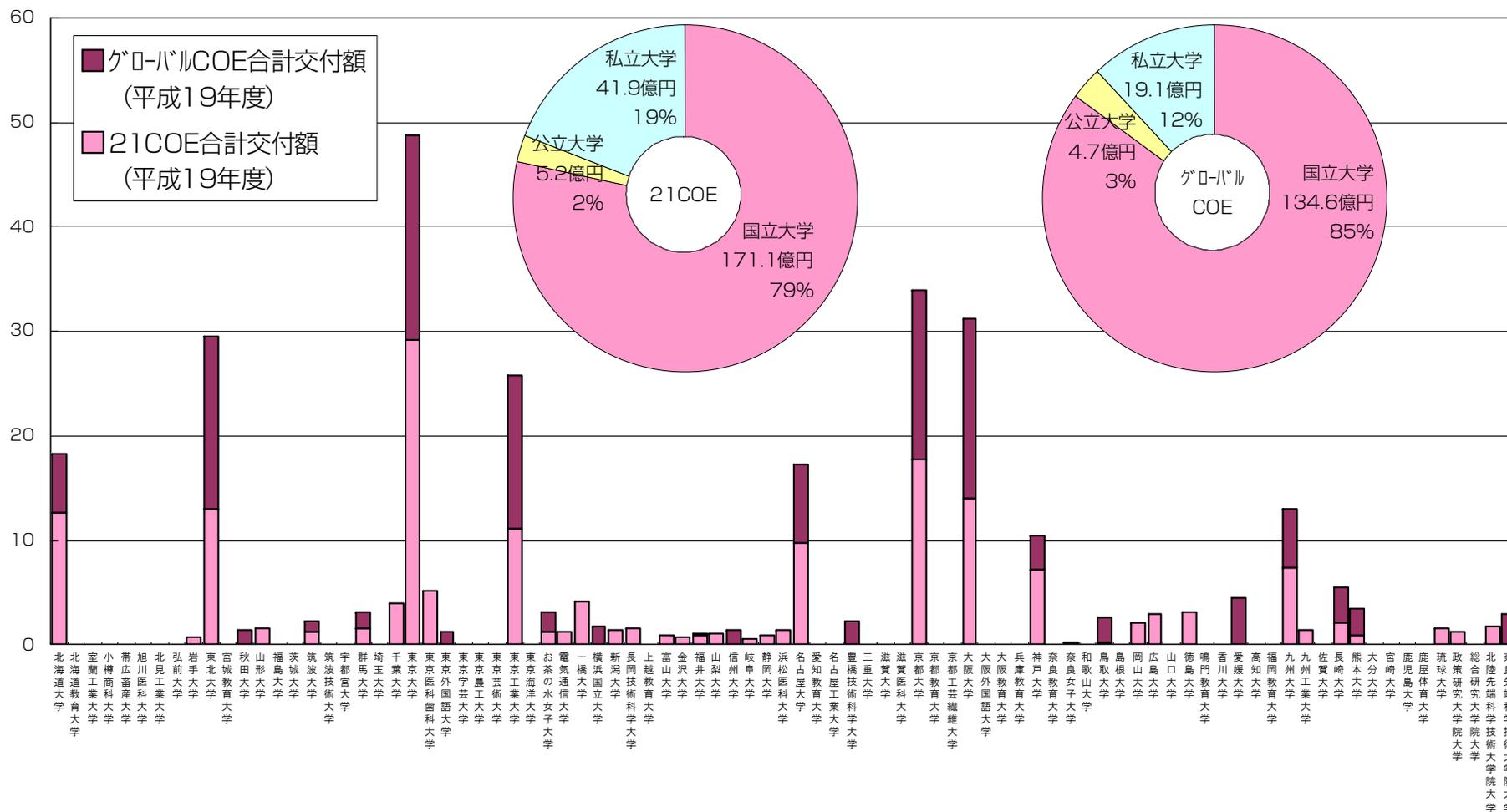
(単位：億円)



5-3

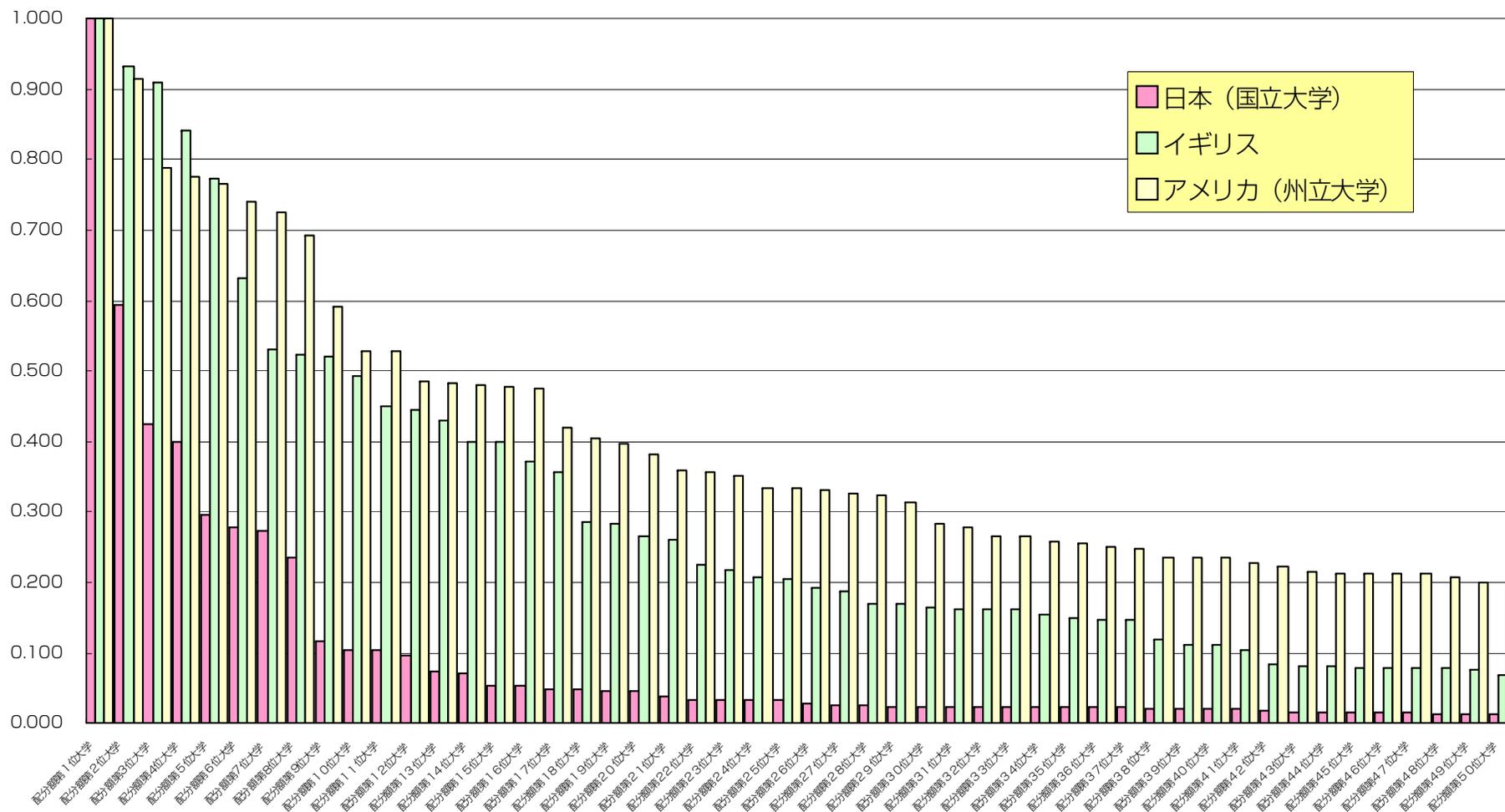
グローバルCOEプログラム及び 21世紀COEプログラム配分額（平成19年度）

（単位：億円）



参考2

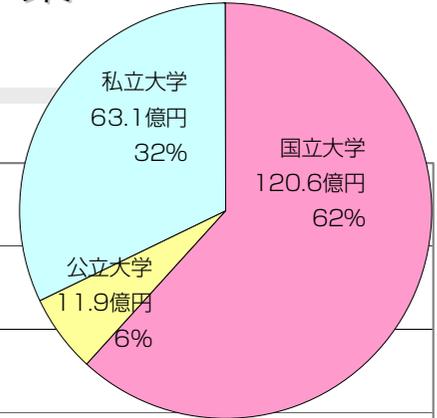
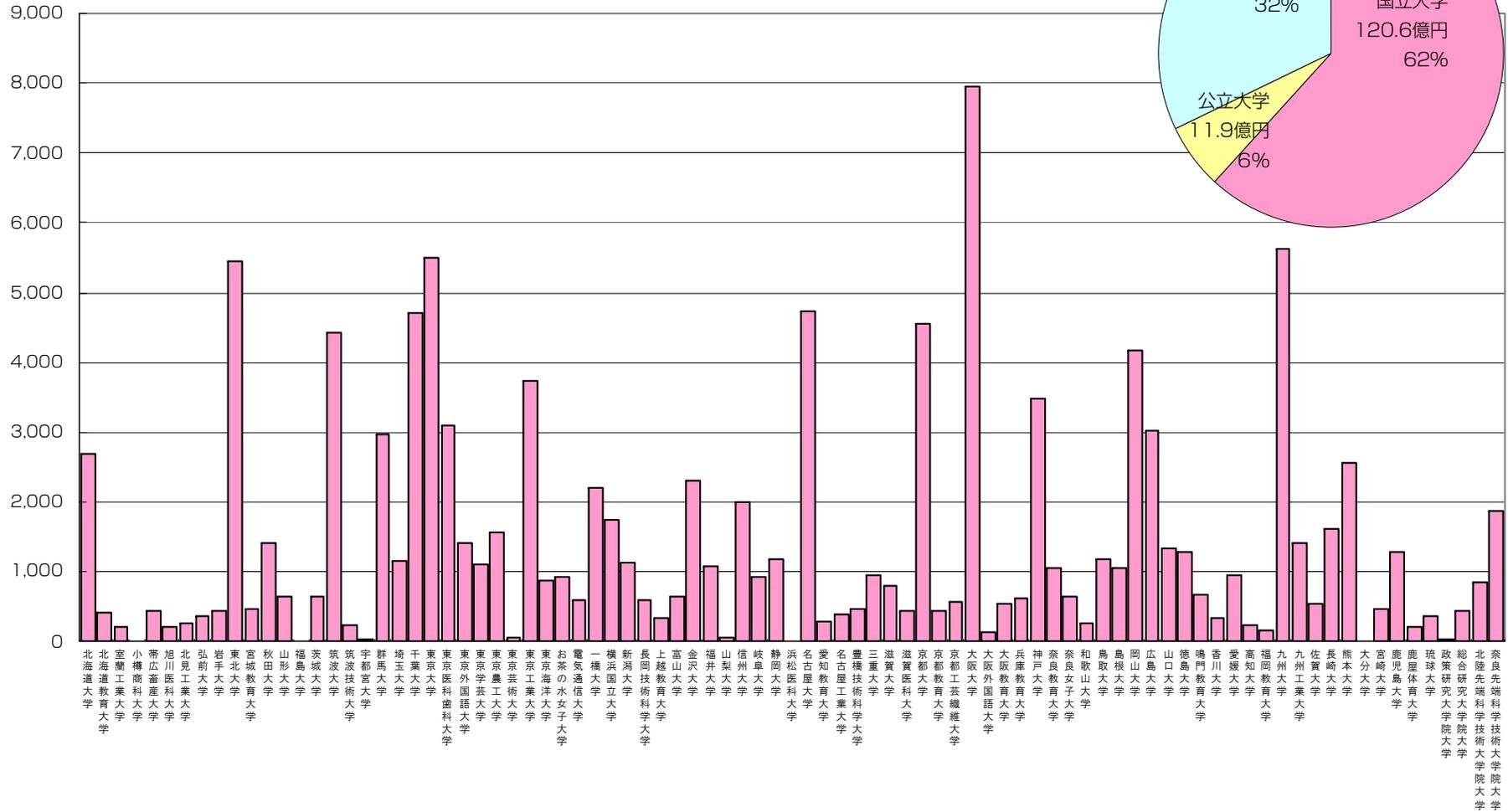
日米英における競争的研究資金の傾斜配分に関する比較



5-4

国公立大学を通じた大学教育改革支援事業 配分額（平成19年度）

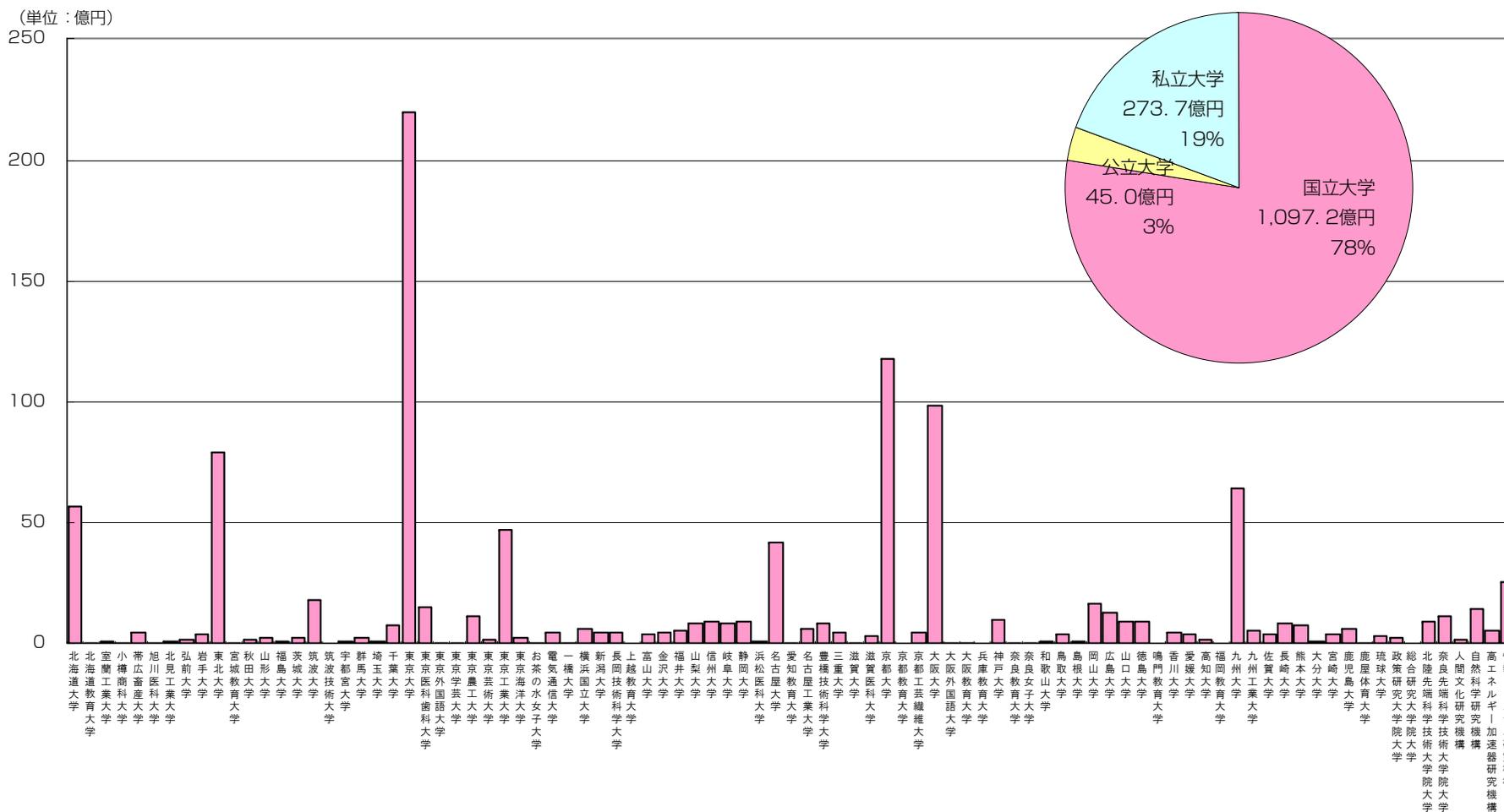
(単位：万円)



【注】本表の数値は、特色ある大学教育支援プログラム、現代的教育ニーズ取組支援プログラム、新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム、大学教育の国際化推進プログラム、専門職大学院等教育推進プログラム、大学院教育改革支援プログラム、「魅力ある大学教育」インシアティブ、がんプロジェクト等要請プログラム、地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム、先導的ITシステム等育成推進プログラム、派遣型高度人材育成協同プログラム、ものづくり技術者育成支援事業、サービス・イノベーション人材育成推進プログラムの合計である。

6-1

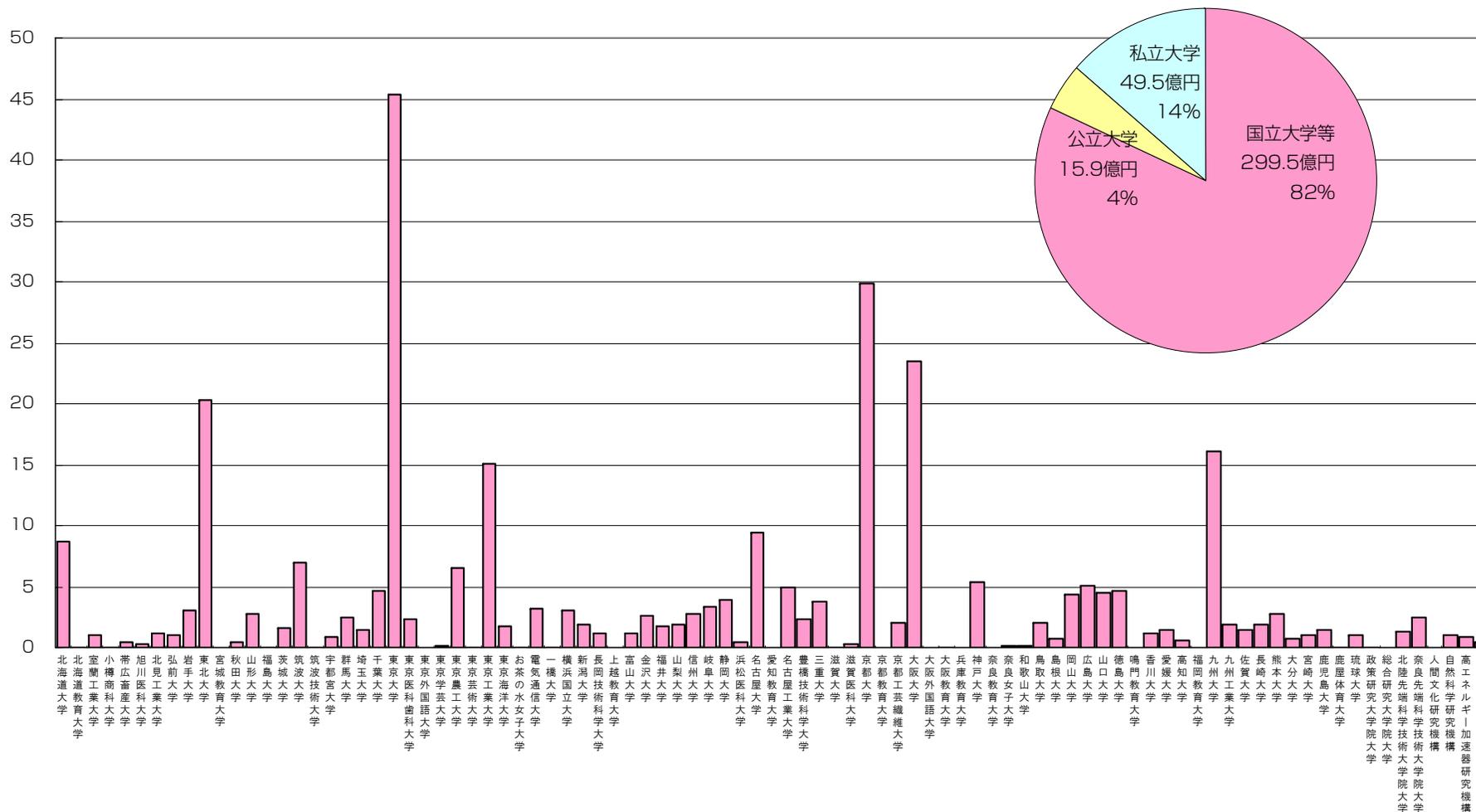
受託研究受入額（平成18年度）



6-2

共同研究受入額（平成18年度）

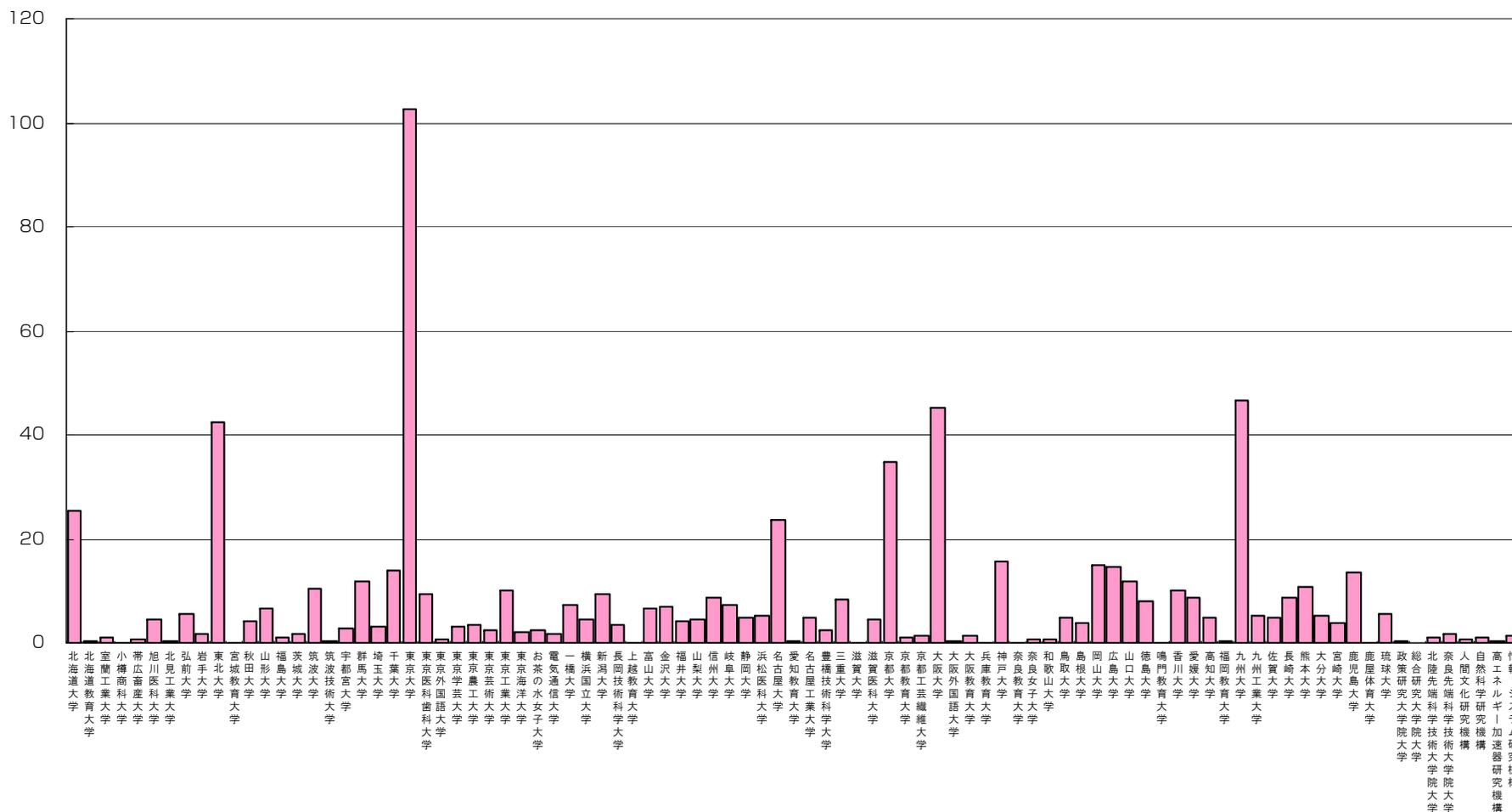
(単位：億円)



6-3

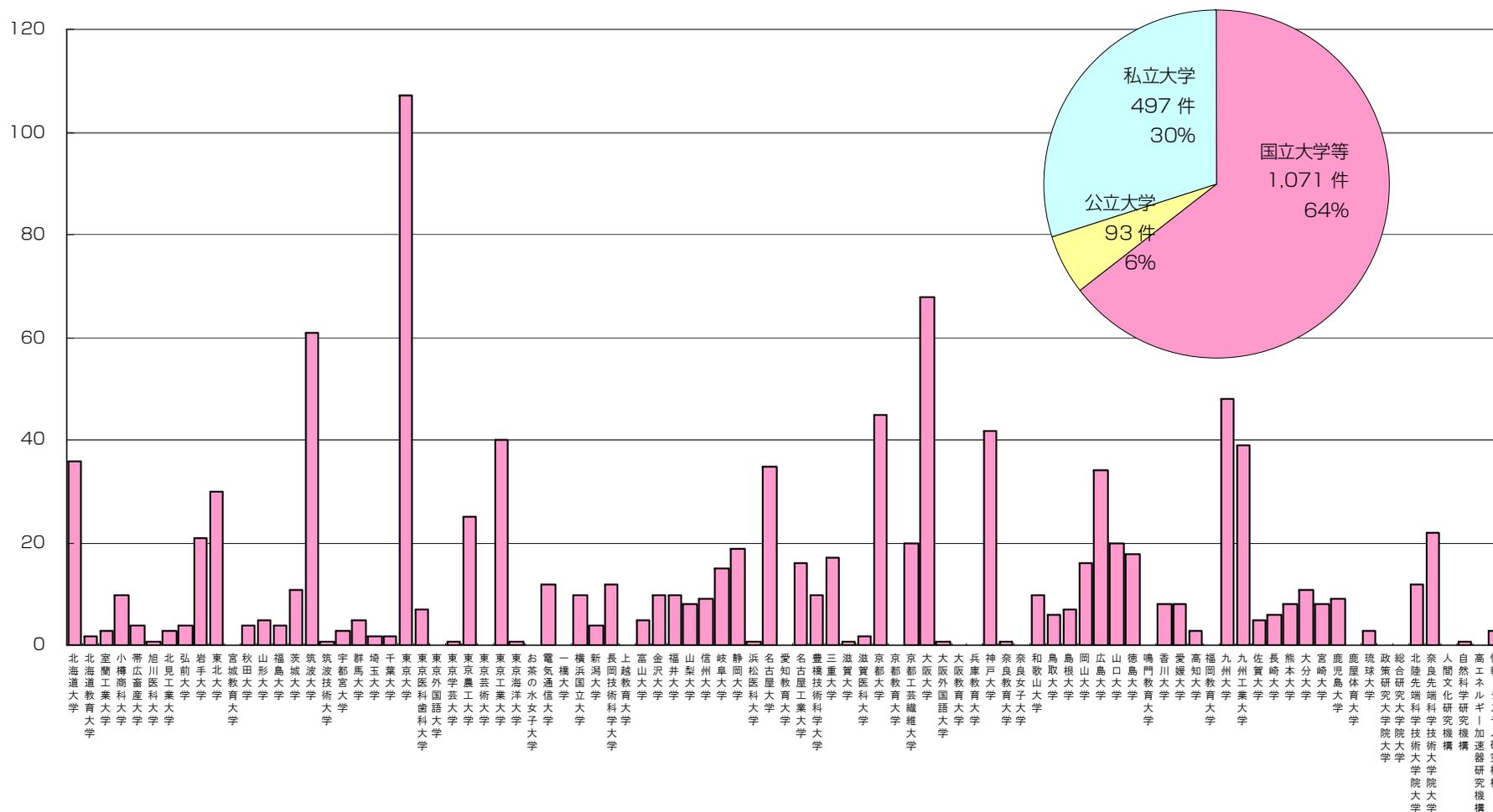
寄附金受入額（平成18年度）

(単位：億円)



6-4

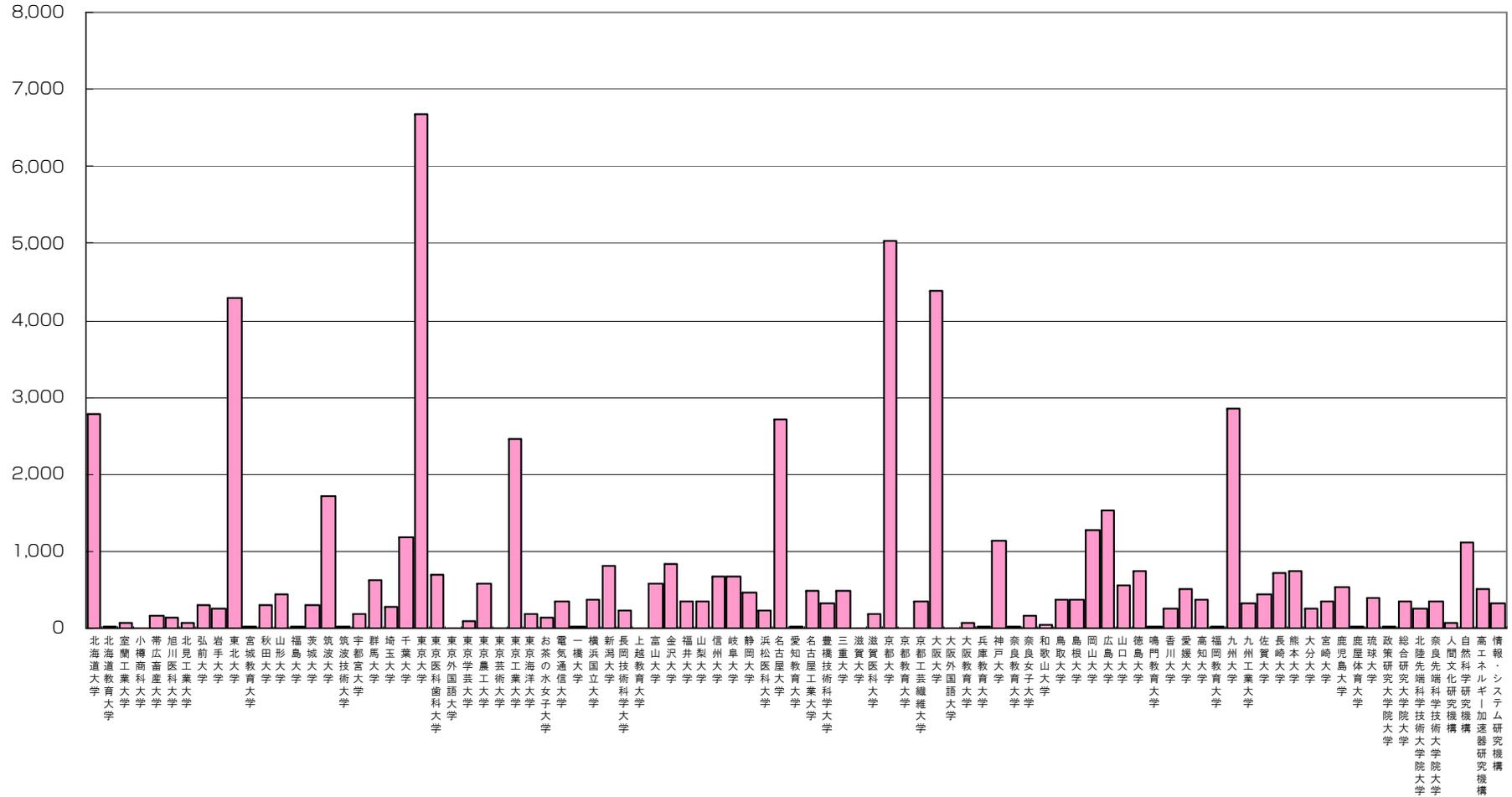
大学等発ベンチャー件数（平成18年度末現在）



【出典】 科学技術政策研究所「平成19年度大学等発ベンチャー調査」
【注】 ベンチャー数は各機関のベンチャー設立数を合算した延べ数で、一つのベンチャーに複数の機関が関わっている場合があり、設立累計とは一致しない。

7-1

学術論文数（平成18年）



【出典】 Thomson Scientific社刊行 “ISI National Citation Report for Japan 1997-2006” (NCR-J)に対する情報・システム研究機構国立情報学研究所・根岸正光教授の調査統計結果〔内閣府『国立大学法人等の科学技術関係活動に関する調査結果（平成18事業年度）』より〕

【注】 全分野における論文数を単純合計した値を使用。国際的な学術雑誌に掲載される論文を対象とするため、自然科学系に比して人文社会科学系が計上されにくい等の偏りがあることに留意する必要がある。